

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第1回（1935年上半期） - 石川達三「蒼氓」			
第2回（1935年下半期） - 該当作品なし（二・二六事件のため審査中止）			
第3回（1936年上半期） - 小田嶽夫「城外」、鶴田知也「コシャマイン記」			
第4回（1936年下半期） - 石川淳「普賢」、富澤有為男「地中海」			
第5回（1937年上半期） - 尾崎一雄「暢気眼鏡」他			
第6回（1937年下半期） - 火野葦平「糞尿譚」			
第7回（1938年上半期） - 中山義秀「厚物咲」			
第8回（1938年下半期） - 中里恒子「乗合馬車」他			
第9回（1939年上半期） - 半田義之「鶏騒動」、長谷健「あさくさの子供」			
第10回（1939年下半期） - 寒川光太郎「密獵者」			
1940年代			
第11回（1940年上半期） - 高木卓「歌と門の盾」（受賞辞退）			
第12回（1940年下半期） - 櫻田常久「平賀源内」			
第13回（1941年上半期） - 多田裕計「長江デルタ」			
第14回（1941年下半期） - 芝木好子「青果の市」			
第15回（1942年上半期） - 該当作品なし			
第16回（1942年下半期） - 倉光俊夫「連絡員」			
第17回（1943年上半期） - 石塚喜久三「纏足の頃」			
第18回（1943年下半期） - 東野邊薫「和紙」			
第19回（1944年上半期） - 八木義徳「劉廣福」、小尾十三「登攀」			
第20回（1944年下半期） - 清水基吉「雁立」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
(第二次世界大戦のため中断)			
第21回（1949年上半期） - 由起しげ子「本の話」、小谷剛「確証」			
第22回（1949年下半期） - 井上靖「闘牛」			
1950年代			
第23回（1950年上半期） - 辻亮一「異邦人」			
第24回（1950年下半期） - 該当作品なし			
第25回（1951年上半期） - 安部公房「壁 S・カルマ氏の犯罪」、石川利光「春の草」他			
第26回（1951年下半期） - 堀田善衛「広場の孤独」「漢奸」その他			
第27回（1952年上半期） - 該当作品なし			
第28回（1952年下半期） - 五味康祐「喪神」、松本清張「或る『小倉日記』伝」			
第29回（1953年上半期） - 安岡章太郎「悪い仲間・陰気な愉しみ」			
第30回（1953年下半期） - 該当作品なし			
第31回（1954年上半期） - 吉行淳之介「驟雨」その他			
第32回（1954年下半期） - 小島信夫「アメリカン・スクール」、庄野潤三「プールサイド小景」			
第33回（1955年上半期） - 遠藤周作「白い人」			
第34回（1955年下半期） - 石原慎太郎「太陽の季節」			
第35回（1956年上半期） - 近藤啓太郎「海人舟」			
第36回（1956年下半期） - 該当作品なし			
第37回（1957年上半期） - 菊村到「硫黄島」			
第38回（1957年下半期） - 開高健「裸の王様」			
第39回（1958年上半期） - 大江健三郎「飼育」			

# 芥川賞マラソン

- ・ 目標は読破（完走）。
- ・ 賞品は「達成感」。
- ・ 自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第40回（1958年下半期） - 該当作品なし			
第41回（1959年上半期） - 斯波四郎「山塔」			
第42回（1959年下半期） - 該当作品なし			
1960年代			
第43回（1960年上半期） - 北杜夫「夜と霧の隅で」			
第44回（1960年下半期） - 三浦哲郎「忍ぶ川」			
第45回（1961年上半期） - 該当作品なし			
第46回（1961年下半期） - 宇能鴻一郎「鯨神」			
第47回（1962年上半期） - 川村晃「美談の出発」			
第48回（1962年下半期） - 該当作品なし			
第49回（1963年上半期） - 後藤紀一「少年の橋」、河野多恵子「蟹」			
第50回（1963年下半期） - 田辺聖子「感傷旅行 センチメンタル・ジャーニー」			
第51回（1964年上半期） - 柴田翔「されどわれらが日々——」			
第52回（1964年下半期） - 該当作品なし			
第53回（1965年上半期） - 津村節子「玩具」			
第54回（1965年下半期） - 高井有一「北の河」			
第55回（1966年上半期） - 該当作品なし			
第56回（1966年下半期） - 丸山健二「夏の流れ」			
第57回（1967年上半期） - 大城立裕「カクテル・パーティー」			
第58回（1967年下半期） - 柏原兵三「徳山道助の帰郷」			
第59回（1968年上半期） - 丸谷才一「年の残り」、大庭みな子「三匹の蟹」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第60回（1968年下半期） - 該当作品なし			
第61回（1969年上半期） - 庄司薫「赤頭巾ちゃん気をつけて」、田久保英夫「深い河」			
第62回（1969年下半期） - 清岡卓行「アカシヤの大連」			
1970年代			
第63回（1970年上半期） - 吉田知子「無明長夜」、古山高麗雄「プレオー8の夜明け」			
第64回（1970年下半期） - 古井由吉「杳子」			
第65回（1971年上半期） - 該当作品なし			
第66回（1971年下半期） - 李恢成「砧をうつ女」、東峰夫「オキナワの少年」			
第67回（1972年上半期） - 畑山博「いつか汽笛を鳴らして」、宮原昭夫「誰かが触った」			
第68回（1972年下半期） - 山本道子「ベティさんの庭」、郷静子「れくいえむ」			
第69回（1973年上半期） - 三木卓「鶉」			
第70回（1973年下半期） - 野呂邦暢「草のつるぎ」、森敦「月山」			
第71回（1974年上半期） - 該当作品なし			
第72回（1974年下半期） - 日野啓三「あの夕陽」、阪田寛夫「土の器」			
第73回（1975年上半期） - 林京子「祭りの場」			
第74回（1975年下半期） - 中上健次「岬」、岡松和夫「志賀島」			
第75回（1976年上半期） - 村上龍「限りなく透明に近いブルー」			
第76回（1976年下半期） - 該当作品なし			
第77回（1977年上半期） - 三田誠広「僕って何」、池田満寿夫「エーゲ海に捧ぐ」			
第78回（1977年下半期） - 宮本輝「螢川」、高城修三「榎の木祭り」			
第79回（1978年上半期） - 高橋揆一郎「伸予」、高橋三千綱「九月の空」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第80回（1978年下半期） - 該当作品なし			
第81回（1979年上半期） - 重兼芳子「やまあいの煙」、青野聰「愚者の夜」			
第82回（1979年下半期） - 森禮子「モッキングバードのいる町」			
1980年代			
第83回（1980年上半期） - 該当作品なし			
第84回（1980年下半期） - 尾辻克彦「父が消えた」			
第85回（1981年上半期） - 吉行理恵「小さな貴婦人」			
第86回（1981年下半期） - 該当作品なし			
第87回（1982年上半期） - 該当作品なし			
第88回（1982年下半期） - 加藤幸子「夢の壁」、唐十郎「佐川君からの手紙」			
第89回（1983年上半期） - 該当作品なし			
第90回（1983年下半期） - 笠原淳「空二の世界」、高樹のぶ子「光抱く友よ」			
第91回（1984年上半期） - 該当作品なし			
第92回（1984年下半期） - 木崎さと子「青桐」			
第93回（1985年上半期） - 該当作品なし			
第94回（1985年下半期） - 米谷ふみ子「過越しの祭」			
第95回（1986年上半期） - 該当作品なし			
第96回（1986年下半期） - 該当作品なし			
第97回（1987年上半期） - 村田喜代子「鍋の中」			
第98回（1987年下半期） - 池澤夏樹「スティル・ライフ」、三浦清宏「長男の出家」			
第99回（1988年上半期） - 新井満「尋ね人の時間」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第100回（1988年下半期） - 南木佳士「ダイヤモンドダスト」、李良枝「由熙」			
第101回（1989年上半期） - 該当作品なし			
第102回（1989年下半期） - 大岡玲「表層生活」、瀧澤美恵子「ネコババのいる町で」			
1990年代			
第103回（1990年上半期） - 辻原登「村の名前」			
第104回（1990年下半期） - 小川洋子「妊娠カレンダー」			
第105回（1991年上半期） - 辺見庸「自動起床装置」、荻野アンナ「背負い水」			
第106回（1991年下半期） - 松村栄子「至高聖所アバトーン」[28][29]			
第107回（1992年上半期） - 藤原智美「運転士」			
第108回（1992年下半期） - 多和田葉子「犬婿入り」			
第109回（1993年上半期） - 吉目木晴彦「寂寥郊野」			
第110回（1993年下半期） - 奥泉光「石の来歴」			
第111回（1994年上半期） - 室井光広「おどるでく」、笙野頼子「タイムスリップ・コンビナート」			
第112回（1994年下半期） - 該当作品なし			
第113回（1995年上半期） - 保坂和志「この人の闘」			
第114回（1995年下半期） - 又吉栄喜「豚の報い」			
第115回（1996年上半期） - 川上弘美「蛇を踏む」			
第116回（1996年下半期） - 辻仁成「海峡の光」、柳美里「家族シネマ」			
第117回（1997年上半期） - 目取真俊「水滴」			
第118回（1997年下半期） - 該当作品なし			
第119回（1998年上半期） - 花村萬月「ゲルマニウムの夜」、藤沢周「ブエノスアイレス午前零時」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第120回（1998年下半期） - 平野啓一郎「日蝕」			
第121回（1999年上半期） - 該当作品なし			
第122回（1999年下半期） - 玄月「蔭の棲みか」、藤野千夜「夏の約束」			
2000年代			
第123回（2000年上半期） - 町田康「きれぎれ」、松浦寿輝「花腐し」			
第124回（2000年下半期） - 青来有一「聖水」、堀江敏幸「熊の敷石」			
第125回（2001年上半期） - 玄侑宗久「中陰の花」			
第126回（2001年下半期） - 長嶋有「猛スピードで母は」			
第127回（2002年上半期） - 吉田修一「パーク・ライフ」			
第128回（2002年下半期） - 大道珠貴「しょっぱいドライブ」			
第129回（2003年上半期） - 吉村萬壺「ハリガネムシ」			
第130回（2003年下半期） - 金原ひとみ「蛇にピアス」、綿矢りさ「蹴りたい背中」（最年少受賞）			
第131回（2004年上半期） - モブ・ノリオ「介護入門」			
第132回（2004年下半期） - 阿部和重「グランド・フィナーレ」			
第133回（2005年上半期） - 中村文則「土の中の子供」			
第134回（2005年下半期） - 糸山秋子「沖で待つ」			
第135回（2006年上半期） - 伊藤たかみ「八月の路上に捨てる」			
第136回（2006年下半期） - 青山七恵「ひとり日和」			
第137回（2007年上半期） - 諏訪哲史「アサッテの人」			
第138回（2007年下半期） - 川上未映子「乳と卵」			
第139回（2008年上半期） - 楊逸「時が滲む朝」			

# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第140回（2008年下半期） - 津村記久子「ポトスライムの舟」			
第141回（2009年上半期） - 磯崎憲一郎「終の住処」			
第142回（2009年下半期） - 該当作品なし			
2010年代			
第143回（2010年上半期） - 赤染晶子「乙女の密告」			
第144回（2010年下半期） - 朝吹真理子「きことわ」、西村賢太「苦役列車」			
第145回（2011年上半期） - 該当作品なし			
第146回（2011年下半期） - 円城塔「道化師の蝶」、田中慎弥「共喰い」			
第147回（2012年上半期） - 鹿島田真希「冥土めぐり」			
第148回（2012年下半期） - 黒田夏子「abさんご」			
第149回（2013年上半期） - 藤野可織「爪と目」			
第150回（2013年下半期） - 小山田浩子「穴」			
第151回（2014年上半期） - 柴崎友香「春の庭」			
第152回（2014年下半期） - 小野正嗣「九年前の祈り」			
第153回（2015年上半期） - 羽田圭介「スクラップ・アンド・ビルド」、又吉直樹「火花」			
第154回（2015年下半期） - 滝口悠生「死んでいない者」、本谷有希子「異類婚姻譚」			
第155回（2016年上半期） - 村田沙耶香「コンビニ人間」			
第156回（2016年下半期） - 山下澄人「しんせかい」			
第157回（2017年上半期） - 沼田真佑「影裏」			
第158回（2017年下半期） - 石井遊佳「百年泥」、若竹千佐子「おらおらでひとりいぐも」			
第159回（2018年上半期） - 高橋弘希「送り火」			



# 芥川賞マラソン

- ・目標は読破（完走）。
- ・賞品は「達成感」。
- ・自分のペースで参加、休憩、ゴールします。

## 芥川賞受賞作一覧（引用ホームページ：公益財団法人日本文学振興会、ウィキペディア）

著者・作品名等	読破	感想	備考
第160回（2018年下半年期） - 上田岳弘「ニムロッド」、町屋良平「1R1分34秒」			
第161回（2019年上半年期） - 今村夏子「むらさきのスカートの女」			
第162回（2019年下半年期） - 古川真人「背高泡立草」			
2020年代			
第163回（2020年上半年期） - 高山羽根子「首里の馬」、遠野遥「破局」			
第164回（2020年下半年期） - 宇佐見りん「押し、燃ゆ」			
第165回（2021年上半年期） - 石沢麻依「貝に続く場所にて」、李琴峰「彼岸花が咲く島」			
第166回（2021年下半年期） - 砂川文次「ブラックボックス」			
第167回（2022年上半年期） - 高瀬隼子「おいしいごはんが食べられますように」			
第168回（2022年下半年期） - 井戸川射子「この世の喜びよ」、佐藤厚志「荒れ地の家族」			